

2020 年度

事業計画書

収支予算書（暫定）

（一社）日本クレー射撃協会

* 2019 年度第 6 回理事会（2020 年 3 月 23 日） 承認

2020年度事業計画書

自：2020年4月1日

至：2021年3月31日

【事業方針】

本年度は、2020 東京五輪の開催年にあたり、ホスト NF としての使命・役割を果たすため、大会運営に鋭意協力し、これを成功裡に導きたい。また、成績面においては、JOC 事業を通じて参加選手の調整を図り、強化委員会の立てた目標達成に向けた対応を行う。

次年度はワールドマスターズゲームズ関西 2021 が開催されるため、今年度予定されているリハーサル大会を通じて各分野の点検・確認作業を行い、本大会に向けた準備を促進する。

国内においては、初の試みとなるブロック別本部公式大会（計4回）を予定しており、同大会の実施を通じて、競技会開催の趣旨徹底、大会運営ノウハウの蓄積、各ブロック・各県協会の人材育成を促進したい。

加えて、本年度は国体隔年開催にあたり、本国体に代わる競技会として第1回全国クレー射撃フェスティバル大会を企画している。本国体同様、有意義な大会となるよう努めると共に、全日本選手権大会やグランド・マスター大会、ビギナーズ・マッチ大会を当年度も継続し、主要大会の充実を図っていききたい。

本年度は（公財）日本スポーツ協会が進める第4期国体実施競技選定が行われる予定であり、これまでに検討・実施してきた施策・計画を総点検し、更には、上部団体が中心となって指導するガバナンス・コード遵守に向けた取組みを盛り込んだ「基本構想」を策定し、短・中・長期的プランに則った協会運営を目指すことで、定款に明記されたクレー射撃競技の普及・振興と競技力向上に寄与していききたい。

また、前年度末に作成した財務計画をベースとして、予算管理の厳格化と資金源確保に努めることで協会財政の健全化を図っていききたい。

事業の詳細については後述の通り。

I. 事業内容

本会定款第5条に記載された7項目に基づき、各項目について記載の諸事業を実施する。

(1) クレー射撃の普及、及び指導

1. 広報事業（機関誌・ホームページ・SNSの活用、その他各種取材への対応）

◆担当：総務委員会（広報部門）

(1) 機関誌「ザ・シューターズ」発行

JSC助成事業として実施し、年間5回発行予定。

(2) ホームページ運営

利用者の利便性向上を目的として、本年度大幅な改善作業を行い、従来よりも充実した情報発信に傾注。

(3) SNS活用

所属会員が協会からの発信情報を得やすいよう、利便性の向上に努める。

2. 本会加盟部会・加盟団体への助成（学連・RT・芸文・パラ）

◆担当：総務委員会・強化委員会

(1) 日本学生クレー射撃連盟、ランニング・ターゲット部会、芸能文化人ガンクラブ、パラ・クレー部会の各部会へ助成金や強化交付金を交付する。

(2) 昨年度に引き続き、組織基盤が脆弱な沖縄県クレー射撃協会について、理事会承認を経て同協会の助成を行う。

(3) 学生連盟の再構築を行ない、会則・組織・事務局の整備を経て各大学への射撃部創設に向けた取り組みを行う。

(4) 各加盟部会に関する権利・義務を明確にすると共に、団体目的を含めた条件整理を行う。

3. 各種推薦業務の実施

◆担当：総務委員会（資格審査部門）

例年同様、ライフル銃所持推薦、散弾銃未成年所持推薦、技能講習免除推薦などの業務を実施。

4. 国民体育大会

◆担当：競技委員会、審査委員会

(1) 国体隔年開催にあたり、自主事業として『第1回全国クレール射撃フェスティバル大会』を実施。

◇会 期：2020年10月2日（金）～4日（日）

◇会 場：福岡県立総合射撃場

(2) 2021年第76回三重国体の開催準備

5. シミュレーター・クレールの展開

◆担当：総務委員会

一般者へのPR活動に資するため、各種スポーツ・イベントなど利用希望のある地方協会等へ貸与を行なう。

また、神奈川県立伊勢原射撃場に続く第2の常時設置射撃場を検討確保する。

6. ドーピング検査事業の実施（*JSC事業）

◆担当：強化委員会（医科学部門）

(1) JADA及び新たに発足した日本スポーツフェアネス推進機構と連携し、当協会主要競技会においてドーピング検査事業を行い、参加選手や協会関係者のアンチドーピング意識の啓蒙を図る。

*競技会検査：全日本選手権大会

(2) 公認スポーツ指導員講習会や強化合宿時の座学において、アンチドーピングに関する講義を行い、アンチドーピングに関する正しい知識・認識の習得に資することとする。

7. 基本構想の作成

◆担当：総務委員会他

将来の目指すべき団体像を掲げ、定款に基づく団体目的を達成するための短・中・長期プランを盛り込んだ『基本構想』を理事会で策定する。

同プランにおいて、第4期国体実施競技選定に向けた各項目の対応策を網羅すると共に、競技団体ガバナンスコードに準拠した基準を明示する。

8. 都道府県協会ランク付け査定

◆担当：総務委員会

国や上部団体（スポーツ庁・JSPO・JOC・JPSC・JSC）で構成される円卓会議が推進するスポーツ・インテグリティの体制整備に対応するため、47都道府県協会のコンプライアンス（法令等遵守）とガバナンス（団体自治）、協会運営に対する貢献度の認識向上をボトムアップする必要があることから、昨年度の理事会・総会の承認を経た47都道府県協会を対象とした評価査定基準を運用し、スポーツ・インテグリティの確保に努める。

(2) クレー射撃の全日本選手権大会及びその他の競技会の開催

1. 公式大会開催事業（春夏秋冬本部公式大会、全日本選手権大会、地方公式大会、ランニング・ターゲット公式大会の開催等）

◆担当：競技委員会、審査委員会、総務委員会

☆ブロック別本部公式大会①（東海／北信越／近畿）

2020年05月09日（土）～10日（日）：愛知県総合射撃場 ⇒ 延期

☆ブロック別本部公式大会②（関東）

2020年06月13日（土）～14日（日）：ニッコー栃木総合射撃場 ⇒ 延期

☆ブロック別本部公式大会③（中国／四国／九州）

2020年07月04日（土）～05日（日）：岡山県クレー射撃場

★（追加）

2020年08月01日（土）～02日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

☆ブロック別本部公式大会④（北海道／東北）

2020年09月12日（土）～13日（日）：二本松市総合射撃場

☆全日本選手権大会（女子含む）・渡辺和三メモリアル

2020年10月22日（木）～25日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

☆第3回ビギナーズ・マッチ及び第4回グランド・マスター大会

2020年11月14日（土）～15日（日）：神奈川県立伊勢原射撃場

⇒ 11月7日（土）～8日（日）へ変更

☆その他 地方公式大会：196大会開催、RT大会：4大会開催

(*RT：ランニング・ターゲット)

2. ワールドマスターズゲームズ関西 2021 リハーサル大会

◆担当：競技委員会

標記組織委員会により、来る2021年度5月開催予定の本大会に向けたリハーサル大会が予定されており、当協会が同大会実施にあたり協力し、本大会に向けた準備・点検を行う。

☆会 期：10月13日（火）～18日（日）

☆会 場：岡山県クレ射撃場

(3) クレー射撃に関する指導者及び審判員の養成並びにその資格の認定

1. ブロック講習会開催による審判員等の養成

◆担当：審査委員会

各ブロックにおける審判員講習会を実施し、1級審判員、2級審判員、公認射撃場指導員の養成を行う。

2. 審判員制度の改正検討

◆担当：競技委員会、審査委員会

地方公式大会へのファイナル戦導入や、スポーティング・クレー（COMPAK）の日本導入検討を進めるにあたり、今後の当協会の公式大会がISSFルール、JCSAルール、MASTERルール、COMPAKルールと混在することになるため、従来の審判員制度を全面的な見直しを図る。

3. 国際審判員の養成

◆担当：競技委員会

来る2020年東京五輪に備え、国際レフェリーライセンス取得者を国際競技会へ派遣し、審査団・審判員の養成を促進すると共に、審判員技術向上と国際ルールの解釈を深めるために、昨年度に引き続き、ISSF公認国際審判員養成講習会を実施する。

*開催日・場所についてはISSFと調整中。

4. 公認スポーツ指導者養成講習会

◆担当：競技委員会

日本体育協会公認による標記指導者養成講習会を実施し、地方協会における指導者の養成に努める。

☆会 期：＊調整中（11～12月頃で検討）

☆会 場：神奈川県立伊勢原射撃場

(4) クレー射撃に施設・用具等及び段級位の検定及び認定

1. 装弾、クレー標的、射撃場、放出機、スコアボードの検定・公認

◆担当：審査委員会（検定部門）

検定委員会規定・基準に則り、各種の検定会や諸手続きを行う。

また、従来装弾・クレー標的に関する公認検定制度の根本的見直しを図り、改訂原案を理事会へ上程する。

2. 関連団体への指導や要望、情報交換

◆担当：総務委員会、検定委員会

業界関係団体との各種懇談会等を利用し、統括団体としての指導や要望、情報や意見の交換をそれぞれ行う。

3. 段級位審査事業（段級位審査会の実施、名誉段位の認定等）

◆担当：審査委員会（段級位審査部門）

各本部公式大会や地方公式大会における段級位審査会を経て、段級位認定を行うと共に、師範や師範代などの名誉段位認定を段級位規定に則り実施する。

また、2018年度4月よりJCSAルールが導入となり、並行してJCSA段級位の取得登録者が発生しているが、同ルール導入に伴う段級位審査規定が改正されていない。今後の周知のためにも、本年度、段級位審査規定の改正を行う。

4. 公認射撃場検定基準に基づく射撃場ランク付け

◆担当：審査委員会（検定部門）

改訂された公認射撃場検定基準に基づき、現行公認射撃場の評価判定を行う。

(5) クレー射撃の競技力向上に関する事業

1. JOC 事業・JSC 事業の実施

◆担当：強化委員会

日本オリンピック委員会（JOC）の選手強化 NF 事業や日本スポーツ振興センター（JSC）助成事業として、次の事業を実施する。

☆2020 東京対策（JOC）

◇次世代アスリート育成事業：国際競技会派遣

◇選手強化 NF 事業：国内合宿（伊勢原）

◇コーチ強化事業：ケビン・エミン帯同

☆タレント発掘事業（JSC）

◇国内強化合宿事業（学生育成）

2. スポーツ庁指定 競技別強化拠点

◆担当：強化委員会

スポーツ庁より指定された競技別強化拠点（神奈川県立伊勢原射撃場）を有効利用し、昨年度に引き続き、クレー射撃の科学的分析を行い、日本選手の競技力向上・技術分析に資する。

(7) クレー射撃の普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の販売

◆担当：総務委員会

協会グッズの作成・販売を行い、クレー射撃競技の普及・振興に資すると共に、財源確保に努める。

(8) その他、目的を達成するために必要な事業

1. 後援企業会の設置等（マーケティング事業）

◆担当：総務委員会

財源確保に努めるため、協会パンフレットを活用し、企業等へのアプローチを行う。

2. 日本スポーツ協会、日本オリンピック委員会、日本アンチドーピング機構、日本スポーツ仲裁機構との連携

◆担当：総務委員会、強化委員会

上部団体等主催の各種研修会や諸会議へ参加し、情報や意見交換に努める。

3. 国際スポーツ射撃連盟、アジア射撃連合、アジアクレー射撃連盟との連携

◆担当：総務委員会（渉外部門）

上部団体主催の各種研修会や諸会議へ参加し、情報や意見交換に努めると共に、2020年東京五輪に向けた諸準備促進し、大会成功裡に向けこれに協力する。

☆ISSF 総会 12月 GER

☆FITASC 総会 7月 南米

4. スポーツ庁、内閣府からの指導

◆担当：総務委員会

関係省庁主催の各種研修会や諸会議に出席し、情報や意見交換に努めると共に、スポーツ庁や内閣府の指導に基づく諸手続を進める。

5. 個人や団体の資格審査

◆担当：総務委員会（資格審査部門）

定款や細則、入会・退会規定に基づく資格審査業務を行うと共に、名誉役員や名誉委員の諸手続きを円滑に進める。

6. 会計・総務・庶務

◆担当：総務委員会

各委員会の統括、加盟地方協会・部会への連絡業務、会計・事務局の管理等を

例年通り実施する。

また、専門委員会活動の活発化と（本部－ブロッカー地方協会）間の意思疎通や連携強化を図る。

7. 倫理事業

◆担当：総務委員会（倫理部門）

倫理講習会や機関誌への関係記事掲載を通じ、当協会関係者への倫理意識を啓蒙する。

また、相談通報窓口の設置・運用を年度上期に実施する。

8. 奨励金事業

◆担当：競技委員会

褒賞金規定や奨励金規定に則り、優秀選手・チームへそれぞれ奨励金を配布する。

9. 各種表彰

◆担当：総務委員会

表彰規定に基づき、本部・地方協会関係者を推薦・表彰すると共に、国・都道府県行政が表彰するスポーツ関係表彰推薦に積極的に取り組む。

以 上

2020年度収支予算(暫定)

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度対比	摘 要
1: 経常収益				
基本財産受取利息	2,000	3,000	△ 1,000	
受取入会金	412,000	326,000	86,000	
止会員受取会費	4,700,000	4,700,000	0	@47地方協会×100,000円
普通会員受取会費	30,765,000	29,925,000	840,000	
事業収益	55,294,000	73,592,000		
公式大会事業収入	35,596,000	29,770,000	5,826,000	* 別添内訳
検定・段級位事業収入	14,105,000	13,289,000	816,000	検定:11,405 + 段級位:2,700
広報事業収入	1,000,000	2,640,000	△ 1,640,000	射場広告:@5,000円×200大会
国体事業収入	0	5,935,000	△ 5,935,000	公式大会事業にて計上
審査・講習会事業収入	2,960,000	1,600,000	1,360,000	公認指導員・審判員、ISSFレフェリー
奨励金納付金収入	0	19,462,000	△ 19,462,000	公式大会事業にて計上
販売収入	1,633,000	896,000	737,000	前年度実績
受取補助金	72,628,000	102,087,000		
JOC・日ス協交付金	18,000,000	19,755,000	△ 1,755,000	前年度実績
JOC委託金①	28,930,000	34,873,000	△ 5,943,000	JOC強化事業
JOC委託金②	1,921,000	0	1,921,000	JOC補助:ISSFレフェリー講習会
JSC助成金(基金)	0	8,606,000	△ 8,606,000	環太平洋射撃大会
JSC助成金(くじ)①	150,000	7,468,000	△ 7,318,000	ドーピング検査事業
JSC助成金(くじ)②	7,627,000	7,385,000	242,000	機関誌発行事業 助成金+広告収入
JSC助成金(くじ)③	16,000,000	24,000,000	△ 8,000,000	ジュニア発掘
受取民間補助金収入	3,600,000	2,156,000	1,444,000	ミズノ、JALネクスト他
参加料収入	0	2,403,000	△ 2,403,000	環太平洋射撃大会
手数料収入	486,000	482,000	4,000	
寄付金・分担金収入	2,000,000	0	2,000,000	協賛金
賠償金収入	0	20,720,000	△ 20,720,000	
雑収益	2,200,000	526,000	1,674,000	競技別NTC助成
合 計	172,087,000	236,920,000	△ 64,833,000	

科 目	予 算 額	前年度予算額	前年度対比	摘 要
3 経常費用				
事業費	99,251,000	160,936,000	△ 61,675,000	
物品販売原価	746,000	300,000	446,000	前年度実績
支払奨励金	0	3,760,000	△ 3,760,000	公式大会事業費にて計上
公式大会事業費	19,744,000	30,520,000	△ 10,776,000	ブロック別本部・東京五輪・WMG関西
国体事業費	200,000	4,700,000	△ 4,500,000	後催国体視察
審査・講習会事業費	1,590,000	2,700,000	△ 1,110,000	公認指導員・審判員、ISSFレフェリー
検定・段級位事業費	184,000	820,000	△ 636,000	
強化事業費	1,000,000	1,500,000	△ 500,000	
渉外業務費	4,000,000	2,960,000	1,040,000	
広報事業費	4,890,000	1,450,000	3,440,000	
総務業務費	2,036,000	600,000	1,436,000	資格審査・倫理含む
資格審査業務費	0	100,000	△ 100,000	
倫理業務費	0	50,000	△ 50,000	
助成金・交付金	1,500,000	1,250,000	250,000	
会 費	0	728,000	△ 728,000	管理費にて計上
特別委員会運営費	500,000	660,000	△ 160,000	
JOC事業①	30,624,000	44,473,000	△ 13,849,000	東京五輪対策
JOC事業②	2,884,000	0	2,884,000	レフェリー派遣
JSC事業(基金)	0	16,718,000	△ 16,718,000	環太平洋射撃大会
JSC事業(くじ)①	188,000	8,215,000	△ 8,027,000	ドーピング検査
JSC事業(くじ)②	9,175,000	9,432,000	△ 257,000	機関誌発行 * 編集打合せ含む
JSC事業(くじ)③	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000	タレント発掘
管理費	71,258,000	68,221,000	5,037,000	
給料手当	39,724,000	40,202,000	△ 478,000	* 賞与・福利厚生・退職給付・交通費含む
通信運搬費	3,665,000	3,526,000	139,000	
什器備品減価償却費	3,200,000	856,000	2,344,000	* 新会館移転に伴う什器、シミュレーターなど
事務用品費	2,220,000	1,844,000	376,000	* 消耗品費含む
賃賃料・リース費	9,635,000	5,240,000	4,395,000	* 新会館移転・会計ソフト変更など
修繕費	0	11,000	△ 11,000	
会議費	5,550,000	6,700,000	△ 1,150,000	
保険料	65,000	55,000	10,000	特約付加
会 費	1,852,000	728,000	1,124,000	上部団体会費等 新規:スポーツフェアネス、FITASC
会員費	0	200,000	△ 200,000	会員費にて計上
褒賞費	0	1,500,000	△ 1,500,000	公式大会事業費にて計上
監査報酬費	1,705,000	1,500,000	205,000	
租税公課	1,000,000	511,000	489,000	
雑費・支払手数料他	2,642,000	3,348,000	△ 706,000	雑費・支払手数料・印刷製本費・慶弔費・ 印紙代・支払利息・開発費
経常費用合計	170,519,000	227,157,000	△ 56,638,000	
当期経常増減額	1,568,000	9,763,000	△ 8,195,000	

4. 予備費	1,568,000
5. 2020短期借入金収入	20,000,000
2019短期借入金返済支出	20,000,000
収支差額	0

